



浪花の歌う巨人  
パギヤん(趙博)一人芝居

昨年来20回の公演を経て、皆様にお届けする **決定版!**

# 声体文藝館 水滴

とくしう  
徳正の右足が突然膨れ出したのは六月の半ば、  
空梅雨の暑い日差しを避けて、裏座敷の簡易ベッドで昼寝をしている時だった。  
…「赦してとらせよ、イシミネ…。」  
(原作:目取真俊、脚本・演出・演劇:趙博)

写真:森 一六正

2019年  
**12月13日** 金 18:30 開場  
19:00 開演  
**小松山正覚寺**

〒809-0003  
福岡県中間市上底井野1747番地  
T&F 093-245-3717



木戸銭 **投げ銭!**

主催 予約 問合せ  
コラボ玉造  
〒544-0031 大阪市生野区鶴橋3-6-24  
info@fanto.org





# 口上

「新基地建設は許さない!」  
「全ての米軍基地撤去!」

大多数の声と圧倒的支持で誕生した翁長雄志・前沖縄県知事が昨年8月に逝去した後も、ウチナーンチュは安倍自民党独裁権力に屈しませんでした。昨年末に玉城デニー新知事が誕生し、今回の参院選も沖縄選挙区では高良鉄美さんの勝利を勝ち取りました。日本で民主主義が息づいているのは沖縄だけだといっても過言ではないでしょう。沖縄の反基地闘争は、今この瞬間も続いているのです。

にもかかわらず、残念ながら「本土」の民主勢力、独裁と闘う意志、そして何よりも、政治中枢で徹底して対抗すべき「革新」陣営は、あまりにも脆弱です。32年前の1987年「国鉄分割民営化」の時、中曽根康弘の「戦後政治の総決算」に野党も労働組合も屈服・敗北して、総評・社会党ブロックは数年後に完全に崩壊、この国で現在進行し続ける「平和・民主主義・人権」の壊死がこの時すでに始まっていたことを、有権者の何%が自覚しているでしょうか?

新自由主義とグローバル資本の攻撃は止まるところを知りません。貧困格差の拡大と人権蹂躪は野放しのまま、やっと「起死回生」かと思われた民主党政権もあっけなく崩壊し、地震と津波と原発事故が私たちを襲いました。あれから8年…自由民主、社会民主、立憲民主、国民民主と「民主」の安売りをしよう



# 声体文藝館 水滴

な党名が跋扈し、はたまた、元号を党名に挿頭してでしか「乱」を起こせなかった政治圏…何よりも、投票率は過去2番目の低さ(最低は1995年の44.5%)のサンギンセンキョでした。

辺野古現地へ行くこともできず、選挙権もなく、ファシスト・レイシストどもを打倒することもできない不甲斐なさどワジワジする思いを、私は私なりに、この一人芝居に込めました。声体文藝館は、己の懺悔であり、葛藤であり、そして、闘争と抵抗と連帯の意思表示でもあります。

目取真俊さんの『水滴』は、1997年の芥川賞を受賞した中編小説です。突然右足の膝から下が冬瓜のように膨れあがり、親指の先の破れ目から水が滴り落ちる…徳正翁とくしょう おんじの水滴が織りなす奇想天外が、沖縄戦の歴史と沖縄の「今」を、コミカルに、シニカルに、そして、ラディカルに、物語ります。

年末の多忙な時間とは存じますが、皆様のお越しを心よりお待ち申しあげます。

浪花の歌う巨人・パギヤン(趙博)拜。



※駐車場は50台まで停められます。

声体文藝館『水滴』福岡公演を申し込みます。

| 氏名         | 住所     |
|------------|--------|
|            | (〒 - ) |
| ( )名参加します。 |        |

FAX 093-245-3717 か メール komatsuzan@cap.ocn.ne.jp までお送りください。